

誠心訪問看護 浜通 通信 Vol.30

小暑の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

いよいよ梅雨明けも近づき夏本番も迫っていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

炭酸やビールなどが一層美味しく感じられる季節となりましたね。

今年もこの季節が やってきました！

昨年の今時期は新規介入のご利用者様の **6割**ほどが熱中症や脱水症による**点滴**でした。

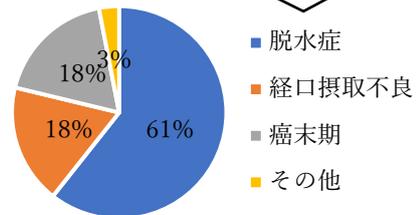
今年も暑い日々が予想されます。今年はスタッフの数も増え、皆様のご要望により迅速にお応えできるとおもいます。

当ステーションのご利用者様でも、室内のエアコン設定が間違っていたり、窓を開けずに過ごされるご利用者様も多く見られます。特に高齢の方は新陳代謝が落ち、汗をかきにくいことから、知らず知らずのうちに熱中症や脱水症に陥る方も少なくありません。

普段の生活から未然に熱中症・脱水症を防ぐためにも、体調管理や生活環境等に見守り・整備が必要な方がいらっしやいましたら、お気軽にご相談下さい。

在籍スタッフ（令和5年7月現在）
看護師 12名（産休1名） 理学療法士 2名 作業療法士 1名 言語聴覚士 1名

令和4年7月～8月の
症状別点滴実施ご利用者様



ST(言語聴覚士)のリハビリってどんな内容?②

言語聴覚士がサポートすべき障害は様々で、患者様一人ひとりに合った訓練や指導が求められます。今回は言語聴覚士のリハビリの内容についてご紹介します。

～発声訓練編～

1



深呼吸で胸の筋肉を大きく動かし、肺の換気を十分に行います。

2



頸部の状態を確認し、頸部の筋緊張を緩めます。

3



頸部を上下、左右に動かし、頸部の可動域を拡大します。

4



肩を上下、回旋して、肩周囲の可動域を拡大します。

5



両手を組み、息を吸いながら両手を挙げて、息を吐きながらゆっくり両手を下ろします。

6



巻き笛等を吹き、呼気の強弱、長短の調整や呼気量を拡大します。

<胸郭可動性訓練>

声が小さい方、長く話せない方などに呼吸筋の柔軟性を促し、胸郭の可動性を改善させることで、吸気量・呼気量の増加を促します。

★発声に不安があるご利用者様がいらっしゃいましたら、ぜひ当ステーションにご相談ください★

